



平成23年5月9日

各位

会社名 住友重機械工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 中村吉伸  
コード番号 6302  
問合せ先 IR広報室長 大島秀夫  
TEL 03-6737-2333

## 新中期経営計画「イノベーション21」について

当社は、2011年度を初年度とする3カ年の中期経営計画「イノベーション21」を策定しましたので、その概要をお知らせいたします。

前中期経営計画「グローバル21」の財務目標（2010年度に売上高8,500億円、営業利益1,000億円）は世界同時不況の影響を受けて達成することができませんでしたが、不況からの回復過程や今後の世界市場の見通しを勘案すると、「グローバル化」と「イノベーション」をキーワードとして「世界の住友重機械」を目指した経営戦略は正しかったものと考えております。国内外にわたり多難な経営環境下ではありますが、新中期経営計画「イノベーション21」を策定し、引き続き「グローバル化」と「イノベーション」を掲げて市場競争力の向上を図り、いかなる経営環境にあっても柔軟に対応し、持続的成長が可能な「強い住友重機械」を目指してまいります。

### 記

#### 1. 新中期経営計画「イノベーション21」の目標

財務数値目標として2013年度において以下の達成を目指します。

① 2013年度	売上高	7,300億円
②	営業利益	730億円

なお、ROICを引き続き住友重機械グループの経営指標とし、 $ROIC > WACC$ を継続するとともに、ROIC10%以上の確保を目指します。同様に、引き続き売上高1兆円規模到達を長期目標として志向し、成長戦略を継続していきます。

#### 2. 「イノベーション21」経営戦略

上述の財務数値目標達成のためには「強い住友重機械」への変革（イノベーション）が不可欠であると認識し、「半分と倍のイノベーション」の言葉を掲げて以下の戦略を実行します。また、本計画実現のために財務規律を維持しつつ成長に向けての投資を積極的に行い、3カ年で約1,500億円の設備および開発投資を実施いたします。

(1) グローバル・ネットワークの拡充および活用

成長のための最重点課題として、引き続き世界の市場で生産、販売・サービスを担うグローバル・ネットワークの拡充に取り組みます。

また、これまでに構築し、展開してきた世界の拠点を有効に活用すべく、地域ごとに事業統括会社を設置するなど、各地域や市場の実態をスピーディに反映して「自律的」な経営を可能とする仕組みを導入していきます。さらに、これら地域、拠点のそれぞれの優位性をグループ全体で活用し合う有機的な仕組みとし、全体として「自立と連携」の思想によって競争力を発揮するグローバル・ネットワークにまで発展させることを目指します。

(2) 革新的商品の開発と市場への投入（プロダクト・イノベーションの推進）

世界の市場を相手に顧客価値創造を目指し、事業部門と本社・技術本部が一体となって「一流商品」を開発し、市場に投入して、持続的成長と収益力向上を図ります。特に、省エネ、再生可能エネルギー利用をコンセプトとする「グリーン商品」の開発を加速いたします。

(3) 生産・販売力および業務遂行力の革新（プロセス・イノベーションの推進）

主として国内で取り組んできた開発、設計、製造、販売、サービスや間接業務の遂行力向上を目指したプロセス変革を成果に繋げ、さらに進化させるとともに、グローバル・ネットワークで活用することで大幅な原価低減、成長市場でのシェア拡大につなげていきます。

3. 配当の考え方

継続的な増配を確実にしていきます。

※注 ROICは投下資本税引後利益率であり、投下資本（株主資本と有利子負債の合計金額）に対してどれだけ利益を出しているか、資本のコストに見合う収益性があるかを示す指標です。WACCは加重平均投下資本コストであり、株主資本コストと有利子負債にかかるコストを示します。

以上